

- 広島県×広島銀行 共催事業 -

「地域ぐるみの脱炭素×資源循環セミナー」開催

＜令和8年3月10日（火） 13:30～16:10 @ひろぎんホールディングス本社ビル＞

広島県では、2050年ネット・ゼロカーボンに向け、地域企業におけるカーボンニュートラル及び資源循環の取組をサポートするため、広島銀行と共同でセミナーを開催します。

本セミナーでは、先進的な取組を進める事業者の事例紹介や、国・県・金融機関による支援策・活用ポイントに関する講演等を実施します。

ぜひ、県内企業をはじめとする多くの皆様への周知と、当日の取材をお願いいたします。

セミナー概要

- 日時：令和8年3月10日（火）13時30分～16時10分（受付：13時～）
- 会場：ひろぎんホールディングス本社ビル 4階大ホール（広島市中区紙屋町1-3-8）
- 主催：広島県、株式会社広島銀行 後援：環境省 中国四国地方環境事務所
- 内容：基調講演、先進企業による事例紹介、パネルディスカッション 等

13:30-13:35	開会挨拶 広島県 環境県民局	
13:35-14:10	基調講演	脱炭素＝コスト？ 地域ぐるみで行う脱炭素経営支援の重要性 環境省 地球環境局 地球温暖化対策課 脱炭素ビジネス推進室 環境省からの支援メニューご紹介 環境省 中国四国地方環境事務所 地域脱炭素創生室
14:10-14:50	事例紹介	脱炭素×資源循環が導く「伝統工芸品の新たな価値」 株式会社晃祐堂 取締役社長 土屋 武美 氏
		パッケージから変える未来 開発と循環で創る持続的価値 株式会社シンギ 代表取締役 田中 友啓 氏
15:00-15:40	パネル ディスカ ッション	脱炭素×資源循環における地域・企業間連携の可能性 環境省、晃祐堂、シンギ、広島銀行、広島県 （モデレーター：ポストン コンサルティング グループ）
15:40-15:50	お知らせ	ネット・ゼロカーボン社会に向けた支援策について 広島県 環境政策課
15:50-16:05		サステナビリティ経営の実践に向けたご支援について 株式会社広島銀行
16:05-16:10	閉会挨拶 株式会社広島銀行	

※詳細は、リーフレットをご確認ください。

3/10(火)開催「地域ぐるみの脱炭素×資源循環セミナー」 取材申込書

※ メールまたはファックスにて申込をお願いします。

メール：kankansei@pref.hiroshima.lg.jp

FAX：082-227-4815

担当：環境政策課 増田、桐山 宛

お手数ですが、下記必要情報をご記入の上、**3月9日(月)17時まで**に、ご返信くださいますようお願い申し上げます。

貴社名	
貴紙・誌名／部署	/
取材者氏名	
参加人数	名（ご本人様含む）
TEL	
携帯電話番号	
メールアドレス	
撮影の有無	<input type="checkbox"/> 有 <スチール（ ）台、ムービーカメラ（ ）台> <input type="checkbox"/> 無

【特記事項】

○ 本返信用紙にご記入頂いた個人情報は、個人情報保護法の主旨に照らして、適切かつ慎重に取り扱わせて頂きます。

なお、携帯電話番号につきましては、中止の際等、緊急時の連絡に使用いたしますので、当日、連絡のつく番号をご記入ください。

○ 事前申込をされていない場合は、当日、直接会場までお越しください。

地域ぐるみの 脱炭素×資源循環セミナー

環境省「令和7年度 地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築モデル事業」成果報告会

日時 2026年
3月10日(火)
13:30~16:10 (13:00開場)

会場 ひろぎんホールディングス本社ビル
4階大ホール (広島市中区紙屋町1-3-8)

参加
無料

プログラム

13:30-13:35	開会挨拶 広島県 環境県民局	
13:35-14:10	基調講演 脱炭素=コスト? 地域ぐるみで行う脱炭素経営支援の重要性 環境省 地球環境局 地球温暖化対策課 脱炭素ビジネス推進室 環境省からの支援メニューご紹介 環境省 中国四国地方環境事務所 地域脱炭素創生室	GXを活用した企業経営力の強化になぜ「地域ぐるみ」が重要なのか? 脱炭素や資源循環から始める、企業価値向上に向けた環境省の支援メニューを紹介します。
14:10-14:50 (14:50-15:00休憩)	事例紹介① 脱炭素×資源循環が導く「伝統工芸品の新たな価値」 株式会社晃祐堂	アップサイクルなど「伝統と革新を融合した製品づくり」と脱炭素への取り組み、バガス材・間伐材の使用による「環境負荷の低減」を両立させた取組をご紹介します
	事例紹介② パッケージから変える未来 開発と循環で創る持続的価値 株式会社シンギ	環境に配慮した食品容器の開発など、資源循環と価値創出の両立に向けた取組をご紹介します
15:00-15:40	パネルディスカッション 脱炭素×資源循環における地域・企業間連携の可能性	【パネリスト】 株式会社晃祐堂、株式会社シンギ、環境省、株式会社広島銀行、広島県
15:40-15:50	お知らせ① ネット・ゼロカーボン社会に向けた支援策について 広島県	脱炭素経営の促進に向けた県の取組や支援施策についてご紹介
15:50-16:05	お知らせ② サステナビリティ経営の実践に向けたご支援について 株式会社広島銀行	カーボンニュートラル・サステナビリティ経営にかかる広島銀行のソリューションについて、ご支援事例を交えてご紹介
16:05-16:10	閉会挨拶 株式会社広島銀行	

(モデレーター：ポストン コンサルティング グループ)

モデル企業



株式会社 晃祐堂
取締役社長 土屋 武美様

「筆を通して世の中に笑顔と喜びと勇気を与える」が理念です。熊野筆の可能性を更に広げるため、観光を含めた様々な取組みにチャレンジしています。



株式会社 シンギ
代表取締役 田中 友啓様

「つくる」知識と「つなぐ」力。私たちはこの二つで、「食」の創造をサポートします。また、環境配慮型パッケージの開発・販売、そして資源循環を推進しています。

主催 | 広島県、株式会社広島銀行 後援 | 環境省 中国四国地方環境事務所

【お問合せ先】

広島県環境政策課 ☎kankansei@pref.hiroshima.lg.jp ☎082-513-2912

【お申し込み先】

締切 3/6 金

